

新幹線プレス

2011年10月20日 No.16

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

反原発・反リニアの闘いを広めよう！

車両所通勤バス停前でピラ配布行動！

10月18日、品川駅車両所通勤バス停前で、JR東海労新幹線地本は、反原発・反リニアの闘いを広めるため、ピラ配布行動を展開しました。

東日本大震災の影響で事故を起こした福島第一原発は、いまだに収束の目処すらたっていない。福島県民をはじめ日本の多くの人々は放射性物質におびえる毎日を送っています。原発の安全神話は完全に崩壊し、事故が起きると人間ではコントロールできないことが証明されました。浜岡原発は、新幹線から20キロ圏内にあります。東海大地震が起きれば甚大な被害が予想されます。JR東海も他人ごとではありません。JR東海労新幹線地本は、まずは浜岡原発を廃炉に向けて闘わなければなりません。10月23日に開催される「NO！浜岡・NO！リニア」10・23シンポジウムin静岡にも積極的に参加していきます。

リニアは浜岡原発再稼動が前提！

JR東海が推し進めるリニア中央新幹線は、国土交通大臣が建設指示を出し、新たな局面を迎えています。リニアは新幹線の3倍といわれる電力消費が必要といわれ、原発数基が必要とされています。当然のことながら、浜岡原発が必要不可欠な電力となります。原発を前提としたリニアを絶対認めるわけにはいきません。

また、リニアは、多くの問題点があります。JR東海は現在約3兆2千億円の長期債務があり、その上にリニア建設でさらに莫大な債務を抱えることとなります。リニアが成功しなければ、JR東海の経営破たんは見えています。また、リニアは中央構造線などの活断層を通ることになり地震に対する安全対策などが明確になっていません。さらに電磁波による影響も懸念されています。リニア建設反対に向けた取り組みをさらに強化して進めていかなければなりません。

